

令和2年度 学校教育の努力点とその推進計画

1 研究主題

みんなで話し合って考えよう
～つかんだめあてに向かって、みんなで追究しようとする子どもの育成～

2 研究のねらい

平成30年度より、本校では、よりよい意見や考えはどれかをみんなで出し合う話し合いの場において、自分と友達の意見や考えの共通点・相違点に気付いていくことで自分の考えを深めることに重点をおいて研究に取り組んできた。この取り組みは、今年度より実施される学習指導要領や、名古屋市教育委員会が重視している『なかまなビジョン』において、「主体的・対話的で深い学び」として重要性が示されている。

一昨年度は、「話すとき」「聞くとき」の約束を設けたり、ハンドサインを用いた話し合い活動を継続的に行ったりした。その結果、多くの子どもが意見や考えを表明できるようになってきた。昨年度は、話し合い活動を大切にした（対話的な）学びを継続するとともに、学習のめあてをもち、学んだことを振り返る（主体的な）学びを行ってきた。その結果、多くの子どもが学習のまとめを自分の言葉で表し、成果を振り返ることができるようになってきた。しかし、振り返りの内容が学習した事柄に留まっており、考えの深まりが見られない子どもが少なからずいた。これは、学習のめあてを自分のものとしてしっかりもつことと、めあてを解決するための方法を理解することが不十分であったことが要因にあると考える。

そこで、本年度は、めあてをつかんだ上で、そのめあてをどのように解決していったらよいのか話し合い、学習の見通しをもつことができるようにする。こうすることで、子どもがより考えを深めていけるようにしたい。

3 研究の方法

～学びを深める授業づくり（学習過程の工夫）～

① 導入「めあてをつかむ」（学習の見通しをもつ活動）

本時や単元のゴールに向けて学習のめあてをもった上で、どのように解決していったらよいのか話し合い、見通しをもつことができるようにする。

② 展開「自分の考えをもつ」「なかまと対話する」（追究する活動）

一人一人が自分の考えをもち、話し合っ自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。

③ まとめ「まとめる」「振り返る」（学んだことをまとめ、振り返る活動）

めあてに対する答えを、子どもが自分の言葉でまとめたり、個々の気付き・考えを表現したりする。